

小路めぐりマップ 津島市探訪

④山車蔵と秋まつりの舞台めぐりコース

このコースでは、尾張津島秋まつりの舞台である、かつて七切・今市場・向島と呼ばれた地域の、山車蔵と、ご祭神、町並みを散策します。

名鉄津島駅スタート 総距離約 5.6km (約 2 時間 30 分)

⇒720m②小中切山車蔵⇒1060m④北町山車蔵⇒1070m⑥上町山車蔵
⇒870m⑧馬場町山車蔵⇒380m⑩居森社⇒820m⑫本町筋⇒690m 名鉄津島駅 (ゴール)
(注) マップの赤線上での距離、所要時間。所要時間は分速 60m 及び滞在時間 5 分で算定。

⑥上町山車蔵
綾渡りからくりの山車



※右面上町山車蔵ルート参照

⑦中之町山車蔵
唐子の文字書きからくりの山車



⑧馬場町山車蔵
大黒からくりの山車



⑨津島神社
秋まつりの会場になる神社



⑩居森社
向島の産土神



⑪ポケットパーク
山車・石探祭車が練り歩く秋まつりを紹介



⑫本町筋の町並み
町家が建ち並ぶ歴史ある旧街道



③大土社
今市場の産土神



②小中切山車蔵
住吉明神からくりの山車



④北町山車蔵
唐子遊からくりの山車



⑤市神社
七切の産土神




上町山車蔵ルート



津島市観光交流センター
津島市の観光情報はこちら



①朝日町山車蔵
湯立神子からくりの山車



- 凡例
- ①～⑫: おすすめスポット
 - : おすすめルート
 - : 本町筋 (旧街道)
 - 🚉: 駅
 - 🏯: 寺院
 - 🏪: 神社
 - 🚻: トイレ
 - 🚽: 多目的トイレ
 - 🏠: 津島ゲストハウス
 - 🏢: 高層建築物 (目印)
 - ★: 山車蔵・石探祭車収蔵庫
 - 📍: 名所

解説は裏面にあります

100m 200m



コース概要

毎年10月第一日曜日と前日土曜日に開催される尾張津島秋まつりは、市内各所で山車(だし)、石採祭車(いしどりさいしゃ)、神楽(かぐら)、子供獅子が出され、まちじゅうで祭が行われます。尾張津島秋まつりは、市内の各地域で行われていた秋の祭を大正時代に津島神社の国幣小社昇格を記念して一つの祭として行ったことが起源になっています。そのため、秋まつりは地域に密着した祭となっています。なお、山車蔵・石採祭車収蔵庫にはそれぞれ案内板がついています。

①朝日町山車蔵(あさひまちだしぐら)

朝日町車は津島市今市場町に伝わります。朝日町車のからくりは「湯立神子」で、湯取り神子が両手に持った笹で湧き上がったお湯をまき散らすと、湯に見立てた紙ふぶきが釜から舞い上がります。

②小中切山車蔵(こなかぎりだしぐら)

小中切車は宮車ともいい、津島市今市場町に伝わります。からくりは能「高砂」に因む「住吉明神」です。

③大土社(おおつちしゃ)

今市場の産土神(うぶすながみ)で、尾張津島秋まつりの今市場祭のご祭神です。今市場は、津島下街道沿いのまちであり、人の往来が活発なまちでした。今市場祭では、朝日町・小中切の2輛の山車が出ます。また現在休眠中ですが、大中切(おおなかぎり)の山車も伝わっています。現在でも「場慣らし」として今市場の2輛の山車が、大土社の前で車切・からくり・お囃子を奉納し、町内を巡行します。

④北町山車蔵(きたまちだしぐら)

北町車は津島市北町に伝わります。北町車のからくりは「唐子遊」で、3体の唐子と御幣振り人形です。

⑤市神社(いちがみしゃ)

七切の産土神(うぶすながみ)で、尾張津島秋まつりの市神祭(七切祭)のご祭神です。七切のまちは、津島上街道沿いのまちで、祭の担い手となる町衆が住みました。市神祭では、米之座(こめのざ)・北町・高屋敷(たかやしき)・布屋町(ぬのやちょう)・池之堂(いけのどう)・麩屋町(ふやちょう)の6輛の山車が出ます。また現在休眠中ですが、小之座(おのざ)の山車も伝わっています。現在でも「場慣らし」として七切の6輛の山車が、市神社の前で車切・からくり・お囃子を奉納し、町内を巡行します。

⑥上町山車蔵(かみまちだしぐら)

上町車は、綾車ともいい、津島市上之町、江川町に伝わります。からくりは四本柱内で行われる独特な「綾渡りからくり」です。格天井からつりさげられた綾棒に、唐子が空中プランコさながらの動きで飛びつき、蓮台に降りる高度な技術が必要なからくりです。

⑦中之町山車蔵(なかのちょうだしぐら)

中之町車は、文字車ともいい、津島市中之町に伝わります。からくりは「唐子の文字書き」です。四本柱内の唐子のうち、ひときわ大きい文字書き唐子が、筆で文字板の紙に文字を書きます。

⑧馬場町山車蔵(ばばちょうだしぐら)

馬場町車は、津島市馬場町に伝わります。馬場町車のからくりは「大黒」で、大黒天が持つ金色の打出の小槌から小唐子が飛び出し、チャップを打ち鳴らします。

⑨津島神社(つしまじんしゃ)

津島神社は、丹塗りの楼門や本殿が美しい津島を代表する神社です。疫病厄災除けのご利益で知られ、全国天王総本社として全国に3,000の分社があると言われています。尾張津島秋まつりの日には、法被姿の子どもたちが獅子頭をもって集う子供獅子、神社東の楼門前に11輛の山車が勢ぞろいして行くからくり奉納、3車の石採祭車が集い行く勇壮な石採祭車奉納が行われます。

⑩居森社(いもりしゃ)

向島の産土神(うぶすながみ)で、尾張津島秋まつりの向島祭のご祭神です。向島は、津島神社の神領であり、居森社は津島神社の境内摂社です。向島祭では、上町・中之町・馬場町の3輛の山車が出ます。現在でも「場慣らし」として向島の3輛の山車が、居森社の前で車切・からくり・お囃子を奉納し、町内を巡行します。

⑪ポケットパーク(池須交差点)

尾張津島秋まつりの16輛の山車に加え、石採祭車3車のイラストと解説文があります。通称「池須交差点」では、尾張津島秋まつりの夜に、11輛の山車が集まって一斉車切が行われます。宵闇の中無数の提灯をともした山車の群れが一斉に回る姿は尾張津島秋まつりのクライマックスとなっています。

⑫本町筋の町並み(ほんまちすじのまちなみ)

津島の歴史ある町並みが見られる場所。この辺りには飲食店や歴史あるお店、古井戸、津島市観光交流センターなどもあります。

用語集

山車(だし)

祭りに際し、曳き出されるもので、神の依代となる「山」を模して造られるといわれ、車輪のついた台車形式の曳山が一般的です。普段は倉庫である山車蔵に収蔵されています。津島では七切・今市場・向島・神守に合計16輛の山車があります。

からくり

日本における伝統的な技術によってつくられた機械仕掛けのこと。また、からくりを搭載した人形をからくり人形と呼びます。津島の山車はすべて異なるからくり人形を備えており、それぞれの山車の特徴となっています。

車切(しゃぎり)

山車の前部を傾けて何十回も回転させる勇壮な業。邪悪なものが集うとされた辻(交差点)で車切を行うことで、邪悪なものを打ち払うと考えられており、市内各所の路上に車切の跡である丸い形が見られます。

石採祭車(いしどりさいしゃ)

石採祭は、鉦や太鼓を打ち鳴らす勇壮な祭りです。石採祭車は石採祭に曳き出される祭車で、山車の一種ですが山車とは異なり、からくりを持たず、代わりに神話や故事に則った豪華な天幕を備えます。津島の石採祭車は大政地区に北部・中部・南部の3車あり、普段は収蔵庫に収蔵されています。大政地区の石採祭車は、秋まつりの両日市内を巡行します。また、市南東部の唐臼町にも1車の石採祭車があり、尾張津島秋まつりの日に行われる唐臼神社の祭りに曳き出されます。

小路めぐりマップについて

- ・平成28年度にワークショップで作成した20種類の小路めぐりマップを4種類に再編しました。
 - ・小路めぐりマップは、津島市公式ホームページよりダウンロードしてお楽しみいただけます。
- 【URL】<http://www.city.tsushima.lg.jp/index.html>

【QRコード】



【注意事項】掲載スポットの営業・拝観情報はマップ作成後に変更されている場合がありますのでご了承ください。

77 見守る・つながる
クルマの保険、ってなに？

事故直後の
初期対応を
サポート

ご家族を
見守る

安全運転を
サポート

MS&AD あいおいニッセイ同和損保

愛知北支店 津島支社
☎0567-25-7961
〒496-0045 愛知県津島市東柳原町 2-22

SOMPO
ホールディングス | 保険の先へ、挑む。 損保ジャパン日本興亜

保険の先へ、挑む。

損保ジャパン日本興亜はSOMPOホールディングスの一員です。

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
名古屋支店 名古屋西支社
〒460-8551 愛知県名古屋市中区丸の内 3-22-21
Tel:052-953-3085 <https://www.sjnk.co.jp/>